

山のトイレ

はいせつはたいせつ

山のトイレ環境を考える
ACTION!! 福岡協議会

協議会通信

山のトイレ・環境を考える福岡協議会通信

第26号

2023年6月1日発行



山のトイレ・環境を考える福岡 協議会第14回定期総会の報告

コロナ禍が続く中で…

山のトイレ・環境を考える福岡協議会の第14回定期総会及び記念講演が2022年7月3日(日)14時から、福岡市中央区舞鶴の健康づくりサポートセンターあいれふの講堂で開催されました。

議長に山上司氏が選出され、21年度活動と会計、会計監査の報告、22年度の活動目標案と会計予算

案、規約改正案、役員改選案の提案があり、質疑応答の後、いずれも出席者全員の賛成で承認されました。参加者は18人。オンラインとなった記念講演では、環境省雲仙自然保護官を務める堀松隆久氏が「雲仙の自然保護と環境保護」と題して、雲仙・普賢岳周辺にも携帯トイレブースの設置を検討する状況にあるとの考えを示しました。

講堂前には携帯トイレブースを展示。平田真介運営委員が中心になって進めた福岡県糸島市の井原山水無登山道復活までの経過を示す写真などをパネル展示しました。また、大分県自然保護推進室より提供の携帯トイレを出席者全員に配布しました。

21年度活動報告では、20年度に続きコロナ禍の影響を受けて思うような活動ができない状態でしたが、7月2日に井原山の「キツネノカミソリを守る会」の整備活動に併せて携帯トイレ普及啓発を行ったことなどが報告されました。



【質疑応答】

- 高井会員 若い方や他の会にも参加の呼びかけをしてほしい。
- 貞苺運営委員長 その通りですね、参加の呼びかけを行っていきます。
- 平田会員 くじゅうの大戸越に携帯トイレブースを設置してほしいという要望を受けている。ぜひ前向きに活動を推進してほしい。
- 城戸会員 大戸越については私も現状に問題があると認識している。所属している「あだると山の会」では携帯トイレを持っていくなど呼びかけをしている。呼びかけを広めてください。
- 山上会長 まずは視察を検討したい。
- 貞苺運営委員長 大分県に現状を知らせるとともに呼びかけを行いたい。
- 城戸会員 予算報告の「雑損費」については、予算にそぐわない表現。また、予算0円については記載の必要がないかと思う。
- 酒井運営委員 次年度より修正します。

山上司会長のあいさつ



6月25、26両日、「夏山フェスタ」が3年ぶりに開かれました。内容をみても、出演者が前回の6～7割、来場者もおそらくそれくらいにとどまったとの印象でした。例年来られていた年配の方が減り、30～40代の方が増えてきたようにも思います。コロナ禍がまだ終息していないという影響もあるのですが、何か変化の兆しがみて取れたように思いました。

さて、山のトイレ・環境を考える福岡協議会についても、発足当時のメンバーの方が引退したり、故人とられたり、さらに会員の高齢化もみられています。活動自体が曲がり角に来ているのかなとも感じています。

私が所属している日本山岳連盟福岡支部でも現在、環境に対する活動を模索しているところです。

昨今のSDGs(持続可能な開発目標)への取り組みの広がりも踏まえつつ、山のトイレ・環境を考える福岡協議会としても今回、環境省雲仙自然保護官である堀松隆久様の記念講演をお聞きしてヒントをいただき、活動を継続し、また広げていきたいと思っております。

記念講演 「雲仙の自然環境と自然保護」

環境省雲仙自然保護官 元マムートジャパン代表取締役社長
堀松 隆久 氏

1・四季で楽しめる雲仙

雲仙は、紅葉のレッド、ミヤマキリシマのピンク、霧氷のホワイトと多彩な色を見せるところです。豊かな温泉もあり、すばらしい自然の宝庫です。これを機会にぜひ、雲仙にお越しください。

2・山のトイレの現状

私が実際に見た山のトイレのお話をします。マムート時代にお世話になった赤岳鉱泉には浄化槽を備えた立派なトイレがあります。涸沢小屋の公衆トイレはカートリッジ式となっています。雨飾山には各ポイントに携帯トイレブースが設置され、携帯トイレの自動販売機と回収ボックスが完備されています。こういった経験を踏まえて、雲仙でも山のトイレ問題に取り組みたいと考えました。

3・雲仙・普賢岳周辺にも携帯トイレのエコシステムを！

前述の経験、そして山のトイレ・環境を考える福岡協議会さんとの意見交換を踏まえて、雲仙・普賢岳にもぜひとも携帯トイレブース、携帯トイレの自動販売機と回収BOXを設置したいと考えています。雲仙・普賢岳周辺にもあちこちにトイレ道と思われる踏み跡が散見されます。山のトイレ問題の早期対応が必要です。現在は妙見岳駅と仁田峠にトイレがありますが、吹越駐車場、紅葉茶屋、仁田峠に携帯トイレブースや携帯トイレの自動販売機を設置できればと考えています。そのためには、登山者の意見を募って何ができるのか、どうすれば良いのかなど、一つずつ問題を可視化し、解決していきたいと思います。皆さんの力も貸していただければと思っています。

【プロフィール】1957年7月30日、東京都生まれ。埼玉大学理学部生体制御学科卒。資格は登山ガイドステージ2。82年にPumaに入社。2007年にマムートジャパンを設立、専務取締役となる。17年2月に代表取締役兼CEO。19年12月に退社。20年4月に環境省雲仙自然保護推進室の国立公園利用企画官となった。山のトイレ・環境を考える福岡協議会とは21年の早春キャンプイベントに参加して縁ができた。
(記・酒井正志運営委員)

2022 年度の活動報告

ACTION1

こんな取り組みをしました!!

久住分かれの携帯トイレブースを清掃

弘蔵副会長交え意見交換会も



大分県が久住分かれに設置する 2 基の携帯トイレブースに汚物が残されていて利用できないとの情報があったことから、会員有志が 2022 年 12 月 14 日、清掃活動に取り組みました。貞苺誠運営委員長ら 5 人が参加。小雪が舞う中、清掃用のお湯を沸かすためストーブ

と水、たらいなどを運び上げました。

トイレブースの便座に取り付けてある網に直接用を足した人がおり、お湯で網をきれいに洗いました。ブース内に放置されていた使用済みの携帯トイレも回収。利用者のマナー向上を呼び掛ける活動の強化とともに、使用済み携帯トイレの回収システム構築を関係機関に働きかける必要性を再認識させられた清掃活動となりました。

前日の 13 日には大分県九重町で、副会長の弘蔵岳久・法華院温泉山荘代表や一般会員も参加して、今後の活動の参考にしようと意見交換会を開催しました。弘蔵副会長は「くじゅうの環境を守るためにも積極的な取り組みが求められる」と指摘。「携帯トイレの使い方が分からない人が多い。広報活動が足りない」「トイレがあるという前提で登山する女性も多い。故障などでパニックになる人もいる」などの声も出ました。意見交換会は今後、定例化する計画です。





久住分かれの携帯トイレブースは、既設のバイオトイレに隣接して 20 年 11 月に設置されました。バイオトイレが処理能力を上回る利用（オーバーユース）で故障した際や、気温低下による処理水の凍結防止のため冬季閉鎖される間に、周辺一帯に排せつ物が放置され環境汚染が深刻化したためです。協議会が集めた 5000 筆を超える状況改善を求める署名活動も設置を後押しした形となりました。協議会としては引き続き回収システムの整備を訴えるほか、携帯トイレの使い方やマナー向上を呼び掛ける機会を積極的につくる考えです。

※5 ページ写真上は清掃に参加した有志。右後方が久住分かれの携帯トイレブース。下はブース内での便座の清掃。6 ページの写真は久住分かれに向かう一行

井原山登山口で携帯トイレを PR

「キツネノカミソリを守る会」の

整備活動に併せて

福岡県糸島市にある井原山の水無登山口と奇徳橋の両駐車場で 2022 年 7 月 2 日、携帯トイレの広報活動をしました。両駐車場にあるトイレの清掃にも取り組む「瑞梅寺キツネノカミソリを守る会」（井上和雄会長、約 60 人）の整備活動に併せて実施。これまでの取り組みなどについてもお話を聞かせてもらいました。



ACTION2

~6~

守る会は2000年7月に発足。毎年7月半ばから水無谷ルートでオレンジ色の花を咲かせるオオキツネノカミソリの群落を守るための環境保護活動を続けています。この



日は開花を前に、雑草の刈り取りやトイレ清掃をされました。私たちが安全に山を楽しめ、清潔なトイレが利用できるのも、こうした地元の皆さんの地道な努力があるからということをおぼろげに感じました。携帯トイレの広報では、水無登山口に携帯トイレを据え付けるトイレシートと簡易テントを設置。登

山客に携帯トイレのほか使い方を説明するチラシなどを配布しました。

※6ページの写真は、携帯トイレや説明チラシを配るトイレ協議会の会員。7ページの写真は、「守る会」による水無登山口トイレ周辺の整備活動

携帯トイレの使い方などを説明

3年ぶり開催の「山フェス」に参加



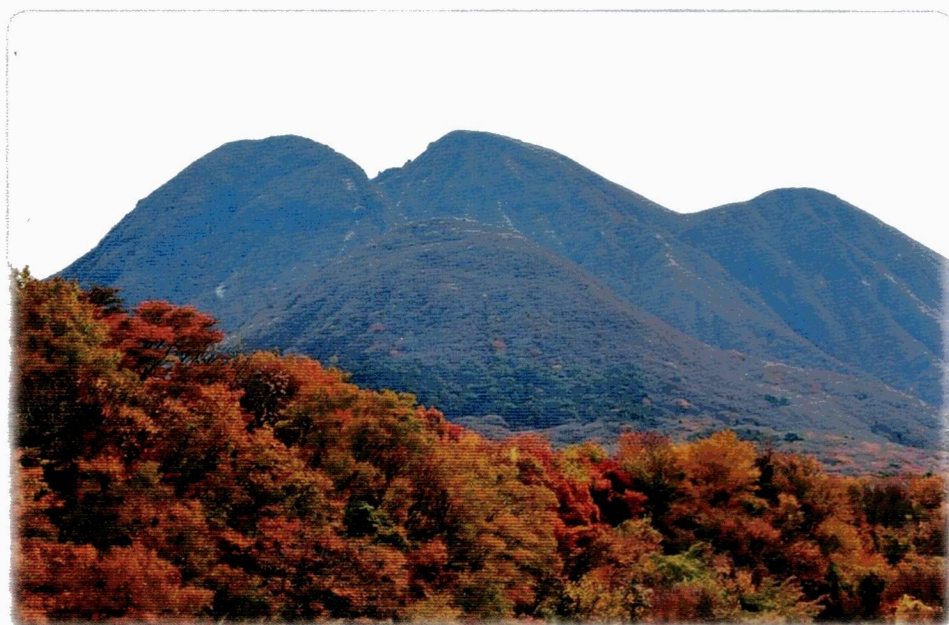
ACTION3

新型コロナウイルス感染症のため、2019年以来3年ぶりの開催となった「夏山フェスタ in 福岡」(実行委員会主催)が2022年6月25、26の両日、福岡市中央区渡辺通の電気ビルみらいホールでありました。山のトイレ・環境を考える福岡協議会も参加し、26日に「山のトイレ事情と携帯トイレの使い方」と題してセミ

ナーを開きました。

約100人の聴衆を前に、協議会の山上司会長が「SDGs(持続可能な開発目標)には安全な水とトイレの提供という項目がある。山のトイレをどう変えていったらいいのか、皆さんと一緒に考えたい」とあいさつ。磯野文雄運営委員が、久住分かれのバイオトイレと携帯トイレブースの状況、福岡県内の山に設置されているバイオトイレなどについて解説しました。英彦山と福智山のトイレ清掃などに取り組む「筑豊山の会」の加藤博史会長は、バイオトイレの仕組みなどを解説=写真。携帯トイレを網に据え付けることができる「トイレシート」や簡易テントを会場に設営し、酒井正志運営委員が携帯トイレの使い方を説明しました。

ゆったり安全な山行を楽しみましょう!!
山の環境も大切に



皆さまの情報・ご意見を
お寄せください

〒815-0115

山のトイレ・環境を考える福岡協議会

福岡県太宰府市内山 708 番地

九州登山情報センター「山の図書館」内

TEL&FAX092-928-2729 水・木曜休館